

産業建設分科会

議案第50号 令和元年度鈴鹿市一般会計補正予算（第2号）の関係分

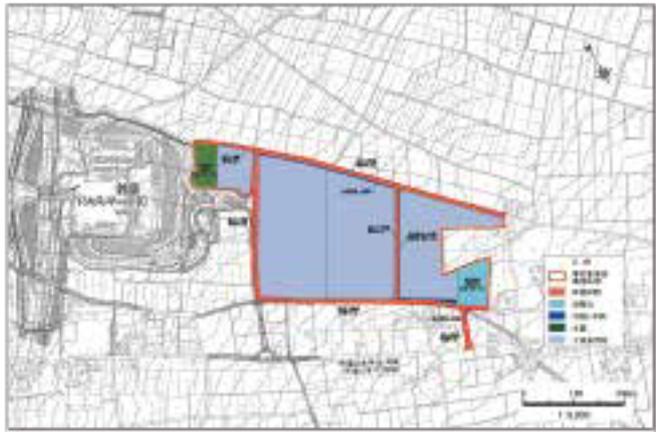
○鈴鹿 PAスマートIC周辺土地区画整理事業費補助 1億3,000万円

（概要） 鈴鹿PAスマートIC周辺土地の利活用を図るため、土地区画整理事業の手法を用いた工業団地の造成が計画されており、この土地区画整理事業に対する補助金を計上するもの。（令和元年度から令和4年度までの債務負担行為との合計額5億8,000万円の初年度に該当）

質疑 土地区画整理事業の内容、区画整理地の利用方法について詳しく知りたい。

答弁 地元地権者が構成員となる組合施行での土地区画整理事業であり、施工面積は約17.7ヘクタールで、工業団地造成の計画が進められている。

土地区画整理組合の業務を民間事業者が一括して請け負う業務代行方式を採用することとしており、造成工事や土地売買については業務代行者が請け負うことが決まっている。今後、造成工事が開始されれば、業務代行者や三重県と連携して企業誘致を行う予定である。



土地利用計画平面図

○アスベスト対策費 7,990万円

（概要） 国のアスベスト対策に係る交付金を活用し、住宅・建築物のアスベスト対策の基礎資料となる建築物データベースを構築する経費を計上するもの。

質疑 新たに作成するアスベスト台帳・建築物データベースの内容を詳しく知りたい。

答弁 7万件ほどの建築台帳・建築計画概要書を電子化してデータベース化することで、アスベスト対策の対象となる物件を把握し、所有者・管理者への啓発につなげる。また、情報資産の汚損・滅失等を防ぐとともに、さまざまな施策や事業への活用を図る予定である。

○管理運営費／維持修繕費 3,000万円

（概要） 経年劣化により生じた市営住宅の外壁などの不良部分を早急に修繕する費用を計上するもの。

質疑 維持修繕費の中に長寿命化工事の費用は含まれているか。

答弁 長寿命化とは別の安全面に対する費用である。長寿命化工事については当初予算で計上しており、本年度は桜島団地の外壁の改善を行う。